UNI-PEX

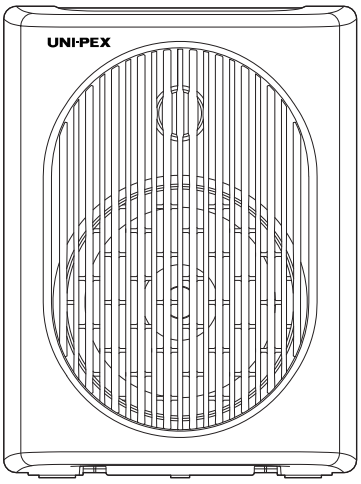
取扱説明書(保証書付)

定格出力25W・ダイバシティ 800MHz帯 ワイヤレスチューナー付

防滴形ワイヤレスアンプ

WA-882

防水等級：IEC60529 IPX3 [JIS C 0920]



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

目 次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・1～4
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
各部の名称と説明・・・・・・・・・・・・・6～8
保護カバーについて・・・・・・・・・・・・・9
収納部ふたについて・・・・・・・・・・・・・10
マルチ収納スペースについて・・・・・・・・・11
使用電源について・・・・・・・・・・・・11～14
電池残量表示について・・・・・・・・・・・・15
電池寿命の目安・・・・・・・・・・・・・・・16
単3形乾電池アダプターの使用方法・・・・・・16
ワイヤレスチューナー部について・・・・・・・17
ワイヤレスチューナーの設定・・・・・・・・・18
800MHz帯ワイヤレスシステムについて・・・19
マイクオーダーについて・・・・・・・・・・・20
別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法・・・21
別売Bluetoothユニットの取付方法・・・・・22
ハウリングとデッドポイントについて・・・・22
操作のしかた・・・・・・・・・・・・・・・23、24
カスケード接続について・・・・・・・・・・・25
接続例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
点検方法・・・・・・・・・・・・・・・・・27、28
定格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
外観寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・32
サポートのご案内/保証書・・・・・・・・・・32

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する
煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。
ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない
水や金属などの異物が内部に入ると、火災、感電、誤動作の原因となります。
ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

定期点検を実施する
専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。
異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

専用ニッケル水素蓄電池（WBT-2500）以外の蓄電池は使わない
万一、内部が破損した場合、発火の原因となります。

防滴が必要とされる環境では、保護カバーと収納部ふたを確実に閉める
保護カバーと収納部ふたの内部は防滴ではありません。
閉め方が不十分ですと水が入り、火災・感電・故障の原因となります。

蓄電池を使用する時は、収納部ふたを必ず閉める
本機故障時に、蓄電池が発火する恐れがあります。火が広がらないように、収納部ふたを必ず閉めてご使用ください。

本機の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない
火災の原因となります。

本機の上に水などの液体の入った容器などを置かない
水などが中に入った場合、火災やけがの原因となります。

AC電源コードは機器に付属の物、または指定の物以外は使用しない
火災・感電の原因となります。

AC電源コードおよびその他のコード類を傷つけない
上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災・感電の原因となります。AC電源コードおよびその他のコード類が傷んだら（芯線の露出、断線）販売店などに交換をご依頼ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグに付着したほこりなどは定期的に取り除く
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない
落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。

ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない
場所や距離や周囲の雑音条件によっては、電波が到達しなかったり瞬間的に電波が遮られたりして、放送が途切れ、作業の指示などが完全には伝達できない場合があり、事故の原因となることがあります。

スピーカーの前面に人がいない事を確認する
突然大きな音を出すと、聴覚障害などのけがや事故の原因となります。

過大入力を加えない、長時間音が歪んだ状態で使わない
火災やけがなどの事故の原因となります。

この防滴形ワイヤレスアンプは、ユニペックス製の専用スピーカースタンド ST-WA（別売）以外に取り付けて使用しない
適合品以外の製品は取り付けないでください。転倒したりして、けがや破損の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には、本機と接続機器の音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ほこり・油成分（油煙/油粒）などの多い場所で使用しない
火災·感電·故障·破損の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所で使用しない、放置しない
窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所、湿気、埃および振動の多い場所で使用、または放置しないでください。火災、感電や故障の原因となることがあります。

通行などの障害となる場所には設置しない
引っかかったり、当たったりなどして、けがの原因となることがあります。

配線は、本機・接続機器の電源を切っておこなう
感電・故障の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する
コード類は引っかけたりして引っ張ると製品の落下などにより、けがの原因となることがあります。
接続·配線には充分ご注意ください。

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

電池は極性(+／−)を確かめ、正しく入れる
電池を挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池容量が異なる電池を混ぜて使用しない
異なる種類の電池を混ぜて使用ないでください。電池容量が異なるため、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。同じ種類であっても、使用状態が異なる電池は電池容量が異なります。混ぜて使用しないでください。

長期間使用しないとき、交流100Vで使用のときは電池を取り出しておく
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない、また、タバコなどの火を近づけない
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

電源プラグ部に水がかかる場所で使用しない、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

保護カバーと収納部ふたを開閉する際、水が付いている場合は、後面側に傾けて水を落とした後に、残っている水を乾いた柔らかい布などで完全に拭き取る
保護カバーと収納部ふたの内部は防滴ではありません。水が入ると、火災·感電·故障の原因となります。

保護カバーを開けたまま使用しない
操作時以外は保護カバーを開けたまま使用しないでください。転倒などでけがや破損の原因となります。

本機に乗ったり、腰掛けたりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

AC電源コードは束ねない
束ねて使用すると熱がこもり、火災や不要なノイズが発生する原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

外部機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。 ⚠

1年に一回程度は、内部の掃除を販売店や工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご依頼先にご相談ください。 ⚠

設置・使用上のご注意

●本機の上面、側面、及び後面に10cm以上の空間を確保して使用してください。
●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

電源について

●電源スイッチを「切」にしただけでは、電源は遮断されません。電源を遮断するときは、つぎのようにご対応ください。
①電源プラグをコンセントから抜いてください。(機器は容易に遮断の操作ができるようコンセントの近くに設置してください)
②乾電池を取り外してください。
③ニッケル水素蓄電池のコネクターを、本機の接続コネクターから抜いてください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶～❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
❷電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
❹電源を入れても音が出てこない、または、その他の異常・故障がある。

防水性能について

●本機は、IEC60529 IPX3※に適合しています。
ただし、保護カバーおよび収納部ふたが確実に閉まっていることが条件です。

※IPX3...標準の位置にある本機に対して、JIS指定の散水ノズルを用い、鉛直方向に対して±60度の位置から噴霧する条件(10L/min±0.5L/min、1min/m²、最低5分実施)で、機能が大きく損なわれない保護等級です。

特　長

PLLシンセサイザー方式のワイヤレスチューナー

・チューナーは、周波数安定度の高いPLLシンセサイザー方式を採用しています。
30チャンネルの中から任意のチャンネルを選択でき、混信のトラブルがなくご使用になれます。

ダイバシティ方式で安定受信

・ダイバシティは音切れを起こすデッドポイント現象を解決し、安定した良好な受信が行えます。

3電源方式のポータブルタイプ

・電源は、AC100V、乾電池(単2形8本または単3形8本)、ニッケル水素蓄電池を使用できます。乾電池は交換が簡単にできる電池ケースを採用しています。

※乾電池(単3形)使用時は、付属の単3形乾電池アダプターが必要です。

使用状況に応じた音質調節

・使用する状況に応じて、最適な音質に調節することができます。

透明感のあるダイナミックサウンド

・新設計のデュアルコーンスピーカーは、強い磁力を誇るネオジウムマグネット(ネオジム磁石)を採用。
新設計のデジタルアンプと組み合わせ、定格25Wの大出力と明瞭度に優れた高音質を実現しました。

最大でマイク6本を同時使用可能

・最大でワイヤレスマイク2本と有線マイク4本を同時使用できるので、多人数でも快適にご使用いただけます。

※別売のDU-850Aを1台、MU-600を1台増設時。

外部音源を入力し、マイク音声をミキシング

・各種プレーヤー、マイクなど、さまざまな外部ソースを入力可能です。
・ラインレベル対応のステレオ入力を備え、各種プレーヤーを入力できます（本機内部でモノラル変換されます）。
・これらの外部音源とマイク音声はミキシング放送できます。

保護カバーで様々なトラブルを防止

・オプションユニット部を保護カバーでしっかりガードした安心設計です。

マルチ収納スペースで環境に合わせた収納が可能

・乾電池、蓄電池、マイクを様々な組み合わせで収納することができます。

小型化と軽量化による機動力アップ

・ネオジウムマグネット(ネオジム磁石)採用により、小型化と軽量化を実現。移動時や収納時の負担を大幅に軽減しています。

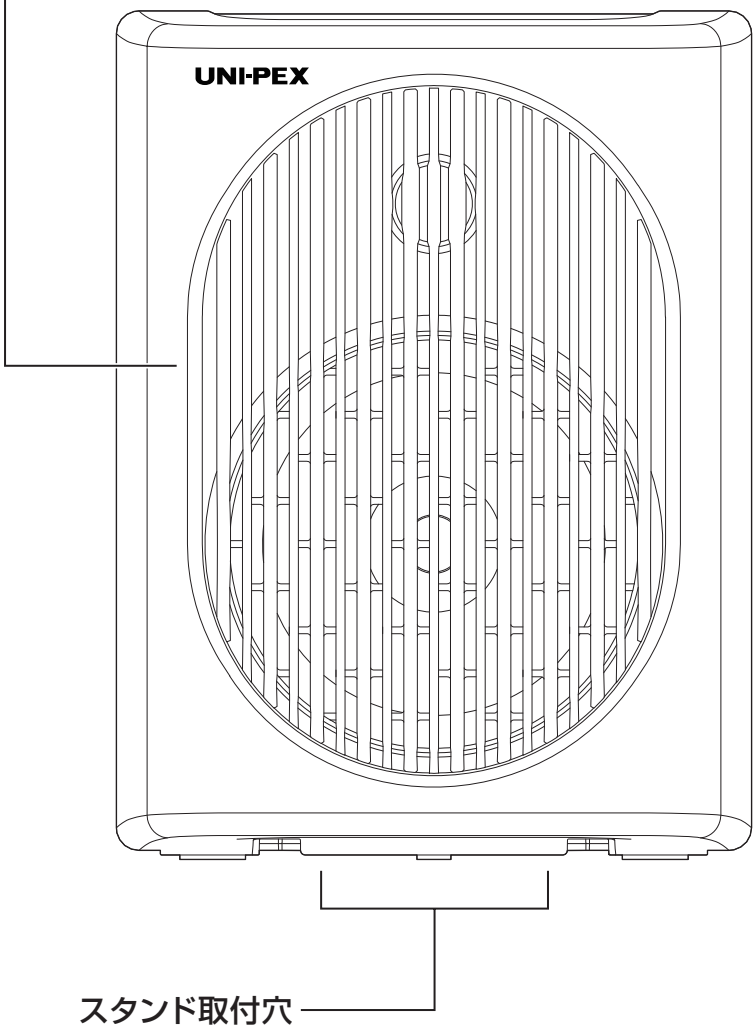
各部の名称と説明（前面）

■前面

スピーカー

デュアルコーンスピーカーを搭載したスピーカーシステムです。
保護の為、スピーカーネットが取り付けられています。

⚠警告	スピーカーネットの隙間から内部に異物を入れないでください。



スタンド取付穴

専用スピーカースタンド ST-WA（別売）に取り付けて使用することができます（取付方法は、ST-WAの取扱説明書をご覧ください）。

ご注意

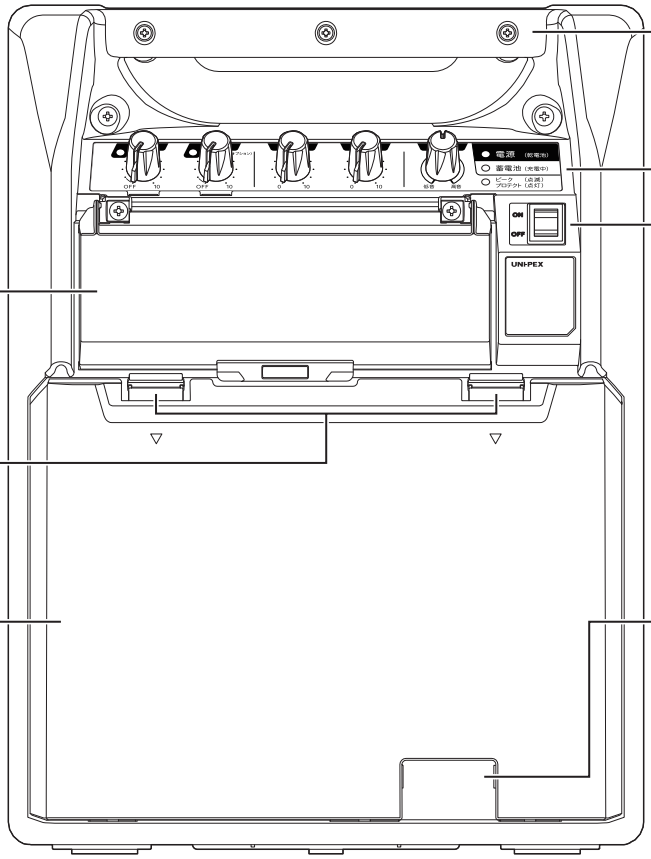
●スピーカースタンド ST-WAは、ユニペックス製の防滴形ワイヤレスアンプ WA-8シリーズ専用品です。その他の機器と一緒に使うと不安定になり、傷害を引き起こす恐れがあります。

各部の名称と説明（後面/収納部）

■後面

保護カバー
操作時は、保護カバーが止まる位置まで持ち上げてください。操作中以外は、保護カバー内部に埃や水滴の浸入を防ぐため、保護カバーを確実に閉めてご使用ください（9頁の「保護カバーについて」の説明をご覧ください）。

オプションユニット取付部（保護カバー内部）
オプションユニットを1台増設できます。増設方法は、オプションユニットの取扱説明書をご覧ください。



ハンドル
持ち運び用のハンドルです。

操作部
8頁の「各部の名称と説明（操作部）」の説明をご覧ください。

電源スイッチ
ワイヤレスアンプの電源を入れるときは「ON」、切るときは「OFF」にします。

収納部ふたストッパー
矢印（▽）の方向に押さえ、手前に引くと、収納部ふたが開きます。

収納部ふた
防滴が必要とされる環境では必ず使用し、確実に閉めてください。

コード通し穴
各種コード接続時は、この通し穴のスポンジ下から引き出してください（10頁の「収納部ふたについて」をご覧ください）。
スポンジは取り外さないでください。

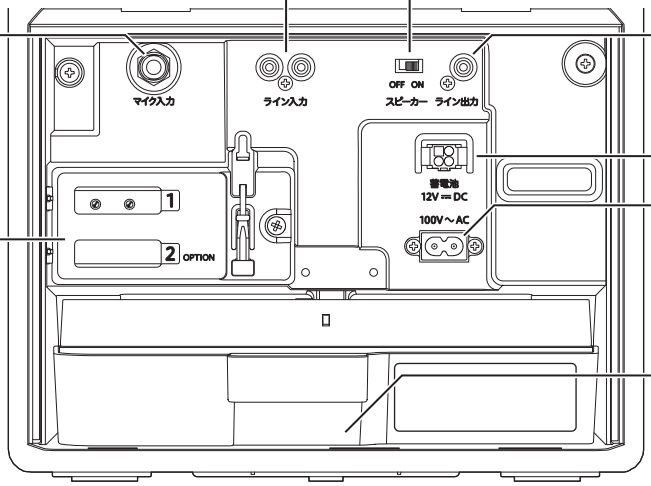
■収納部

ライン入力ジャック
（−12dBV 10kΩ 不平衡）
ライン入力専用の外部入力ジャックです。
モノラル機器の場合は、片方のジャックに接続してください（ステレオ入力した場合でも出力はモノラルになります）。

マイク入力ジャック
（−56dBV 600Ω 不平衡）
有線マイクのプラグを接続します。

ワイヤレスチューナー部
17頁の「ワイヤレスチューナー部について（各部の名称と説明）」をご覧ください。

内蔵スピーカー ON/OFFスイッチ
内蔵スピーカーを鳴らすときは「ON」、外部アンプに接続して放送する時など内蔵スピーカーを鳴らさない時は「OFF」にしてください。



ライン出力ジャック
（0dBV 1kΩ 不平衡）
録音機器などを接続します。

蓄電池接続コネクター
専用のニッケル水素蓄電池を接続します（13頁「使用電源について」の「ニッケル水素蓄電池 WBT-2500（別売）でご使用の場合」をご覧ください）。

AC電源入力端子
付属のAC電源コードを挿します（12項の「AC電源でご使用の場合」をご覧ください）。

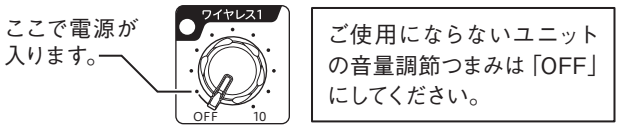
マルチ収納スペース
単2形乾電池(R14P/LR14)8本、ニッケル水素蓄電池、マイクを様々な組み合わせで収納することができます（11項の「マルチ収納スペースについて」をご覧ください）。

各部の名称と説明（操作部）

■操作部

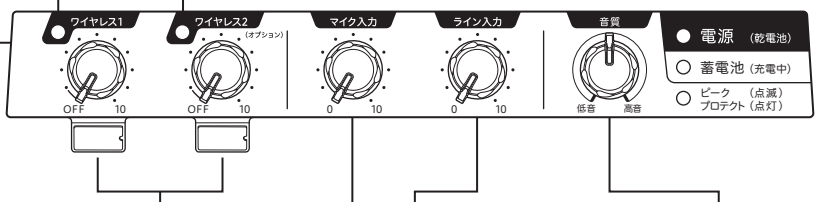
アンテナ受信表示灯
ワイヤレスチューナーの電源が入ると、赤色で点灯または点滅し、電波受信時には緑色で点灯します（17頁の「ワイヤレスチューナー部について（各部の名称と説明）」をご覧ください）。

ワイヤレス1/2音量調節つまみ
ワイヤレスチューナー取付部の、各ユニットの音量を調節します（17頁の「ワイヤレスチューナー部について（各部の名称と説明）」をご覧ください）。



電源表示灯
本機の電源が入ると点灯します。
AC電源及び蓄電池動作時は緑色で点灯し、乾電池動作時は残量を色の変化で表示します（15頁の「電池残量表示について」をご覧ください）。

蓄電池表示灯
蓄電池動作時、残量を色の変化で表示します（15頁の「電池残量表示について」をご覧ください）。
蓄電池の充電を開始すると、橙色になります（14頁の「充電のしかた」をご覧ください）。



チャンネル表示ラベルスペース
チャンネル表示ラベルを貼ります。
本機のワイヤレスチューナー部は収納部内にありますので、外部からグループ・チャンネルを確認できるよう、ラベルを貼ることを推奨します。

マイク入力音量調節つまみ
収納部内のマイク入力ジャックに接続されたマイクロホンの音量を調節します。

ライン入力音量調節つまみ
収納部内のライン入力ジャックに接続された機器の音量を調節します。

音質調節つまみ
中央のクリック位置が標準の音質です。
そこから右回りで高音、左回りで低音を強調します。
※録音機能付オプションユニットへの録音には、効果はありません。

プロテクト表示灯
【ピーク】
入力レベルが大きいと赤色で点滅し、入力レベルを減衰させます。
【プロテクト】
内部の異常を検知すると赤色で点灯し、動作を停止します。
電源を切り、入力レベルや周囲温度を適切に調節し、再度電源を入れてください。それでも動作しない場合、故障の可能性があります。販売店などへご連絡ください。

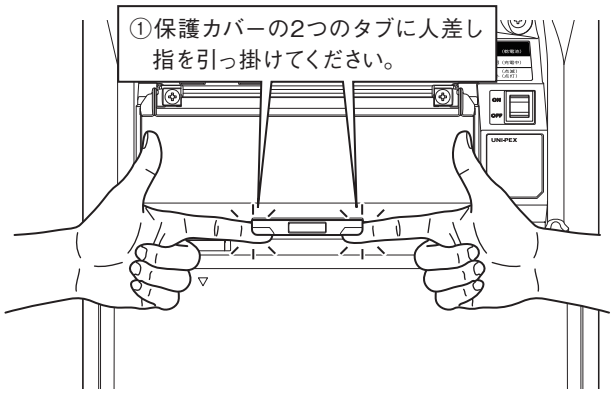
保護カバーについて

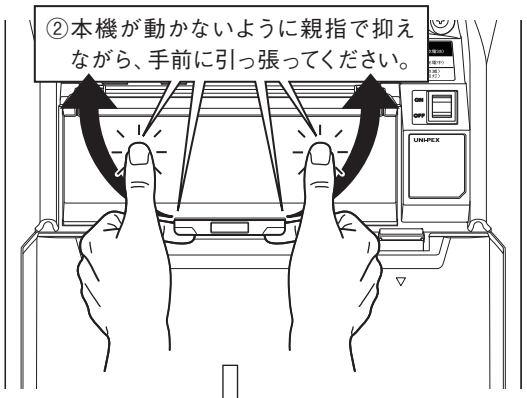
●保護カバーは、保護カバー内部への水滴や埃の浸入を防ぎます。また使用中の誤操作を防ぐこともできます。
使用中（操作中を除く）および保管時は、保護カバーを確実に閉めてください。

⚠警告	防滴が必要とされる環境では、保護カバーを確実に閉めてください。

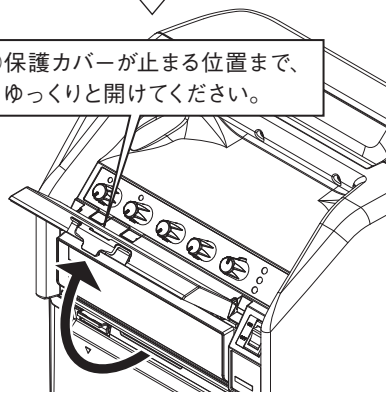
⚠注意	保護カバーを開閉する際、水が付いている場合は、後面側に傾けて水を落とした後に、残っている水を乾いた柔らかい布などで完全に拭き取ってください。

■開け方



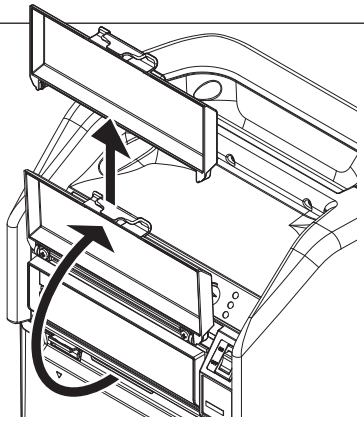


①保護カバーの2つのタブに人差し指を引っ掛けてください。
②本機が動かないように親指で抑えながら、手前に引っ張ってください。
※防滴性能を維持するため、保護カバーのロックは固めになっています。
③保護カバーが止まる位置まで、ゆっくりと開いてください。



■取り外し方

●保護カバーを取外す際は、下図の位置まで開け、上方向に真っ直ぐに引き抜いてください。
●再度取付ける際は、逆の手順で確実に差し込んでください。



■閉め方

●本機が動かないように手で抑えながら、保護カバーの2つのタブを「カチッ」と音がする位置までしっかりと押しこんで、確実に閉めてください。押し込みが不十分ですと、防滴性能を発揮できません。

収納部ふたについて

⚠警告	防滴が必要とされる環境では、収納部ふたを確実に閉めてください。

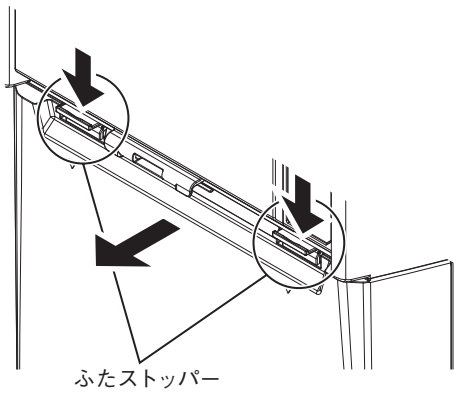
●接続や取付け、設定などの作業を行う際は、収納部ふたを取り外してください（下図参照）。
●作業が済みましたら、収納部ふたを確実に閉めてください（下図参照）。

⚠注意	収納部ふたを開閉する際、水が付いている場合は、後面側に傾けて水を落とした後に、残っている水を乾いた柔らかい布などで完全に拭き取ってください。

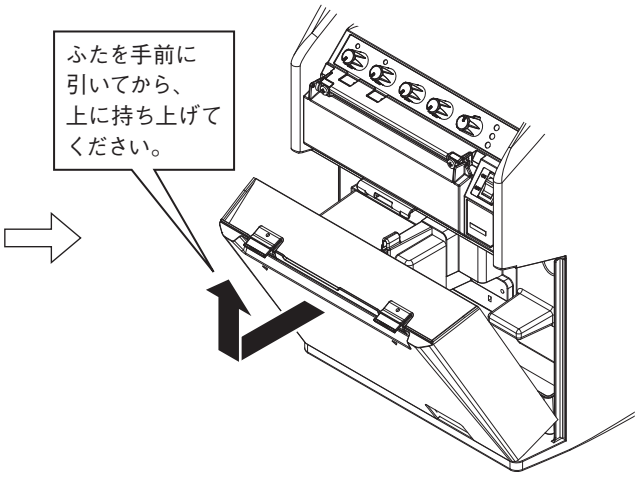
⚠注意	収納部ふたを閉める際、本機との間にコード類を挟まないようにご注意ください。 挟んだ状態で閉めると、収納部ふたやコード類が変形・破損することがあります。

開け方

①ふたストッパーを下向きに押さえ、
手前に引いてください。

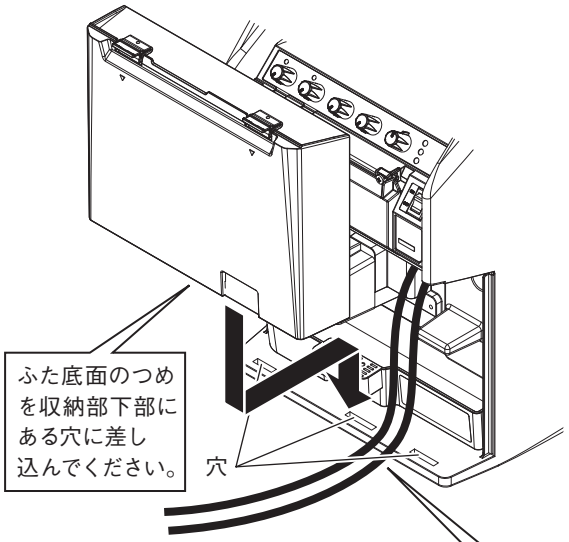


②収納部ふたを取り外してください。

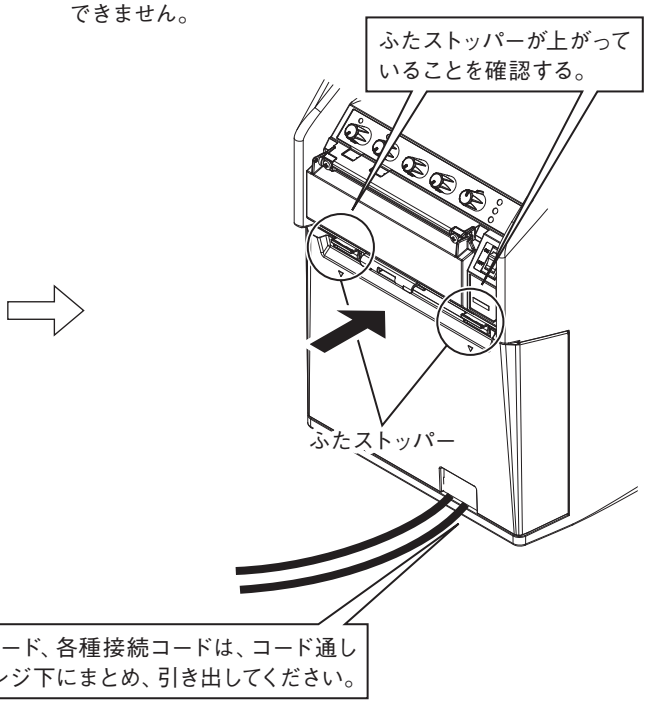


閉め方

①収納部ふたを取付けてください。

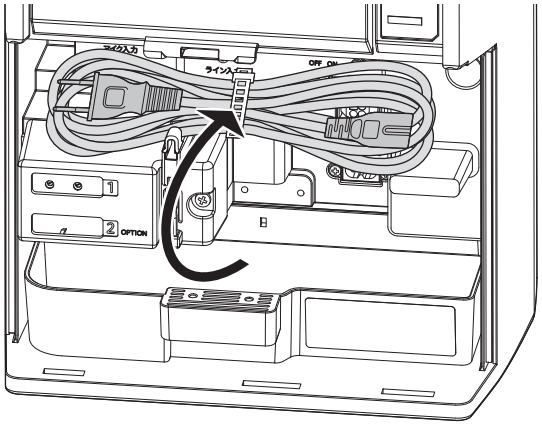


②両方のふたストッパーが上がる位置まで、しっかりと
押しこんで、確実に閉めてください。
片方だけしか上がっていない場合、防滴性能を発揮
できません。



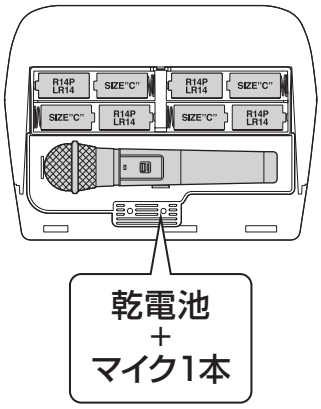
マルチ収納スペースについて

●本機は乾電池、蓄電池、マイクを、ニーズに合わせた組み合わせで、マルチ収納スペースに収納することができます。
●付属のAC電源コードは、下図の位置に収納可能です。



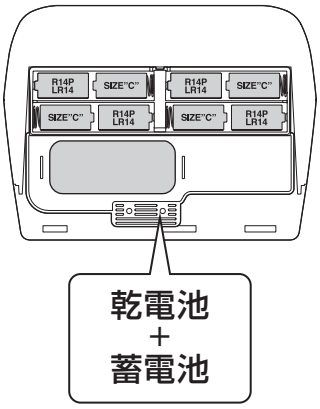
■収納例

AC電源と乾電池を使用し、マイク1本を収納したい。



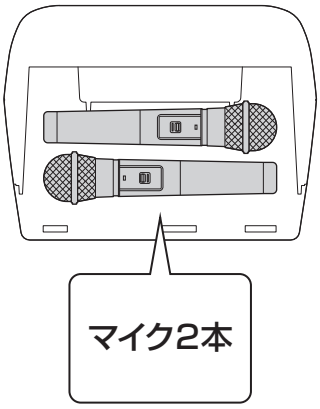
乾電池 ＋ マイク1本

乾電池と蓄電池を使用し、AC電源の無い場所で長時間使用したい。



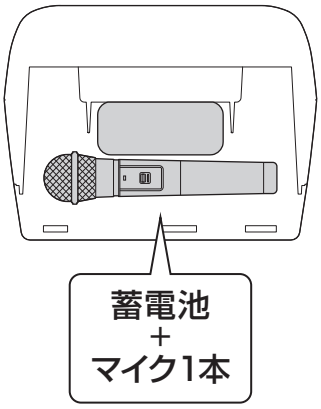
乾電池 ＋ 蓄電池

AC電源を使用し、マイク2本を収納したい。
※電池ケースは取り外します。



マイク2本

蓄電池を使用し、マイク1本を収納したい。
※電池ケースは取り外します。



蓄電池 ＋ マイク1本

⚠警告	鋭利なものや可燃物、液体を入れないでください。 蓄電池や機器を傷つけ、発火、破裂につながります。

使用電源について

●本機は、3種類の電源を使用することができます。使用状況に応じて最適な電源をお選びください。
・**AC100V**　・**乾電池 (単2形(R14P/LR14)8本または単3形(R6P/LR6)8本)**（別売）
・**ニッケル水素蓄電池 WBT-2500**（別売）
※乾電池(単3形)使用時は、付属の単3形乾電池アダプターが必要です。

⚠警告	**単3形乾電池アダプターは、必ず当社の製品を使用してください。** **当社以外のアダプターを使用すると、接触不良、導通不良、故障、発火の恐れがあります。**

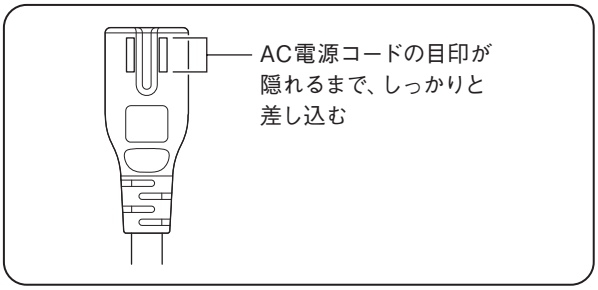
●複数のDC電源を同時に接続している場合、次の優先順位に従って給電されます。
①**ニッケル水素蓄電池 WBT-2500**　②**乾電池 8本**
※ニッケル水素蓄電池の残量が少なくなると、自動的に乾電池からの給電に切り替わります。
●作業の際、収納部ふたを開閉する必要があります。開閉については、10頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

使用電源について

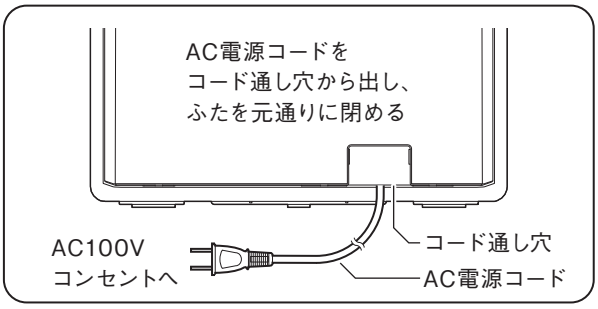
■AC電源でご使用の場合

⚠注意 電源プラグ部に水がかかる場所で使用しない、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

①電源スイッチを切り、収納部ふたを開けてください。
②付属のAC電源コードを、本機のAC電源入力端子に差し込んでください(右図参照)。



③AC電源コードをコード通し穴のスポンジ下から出してください(右図参照)。
④AC電源コードをACコンセントに差し込んでください(右図参照)。
⑤元通りに収納部ふたを閉めてください。

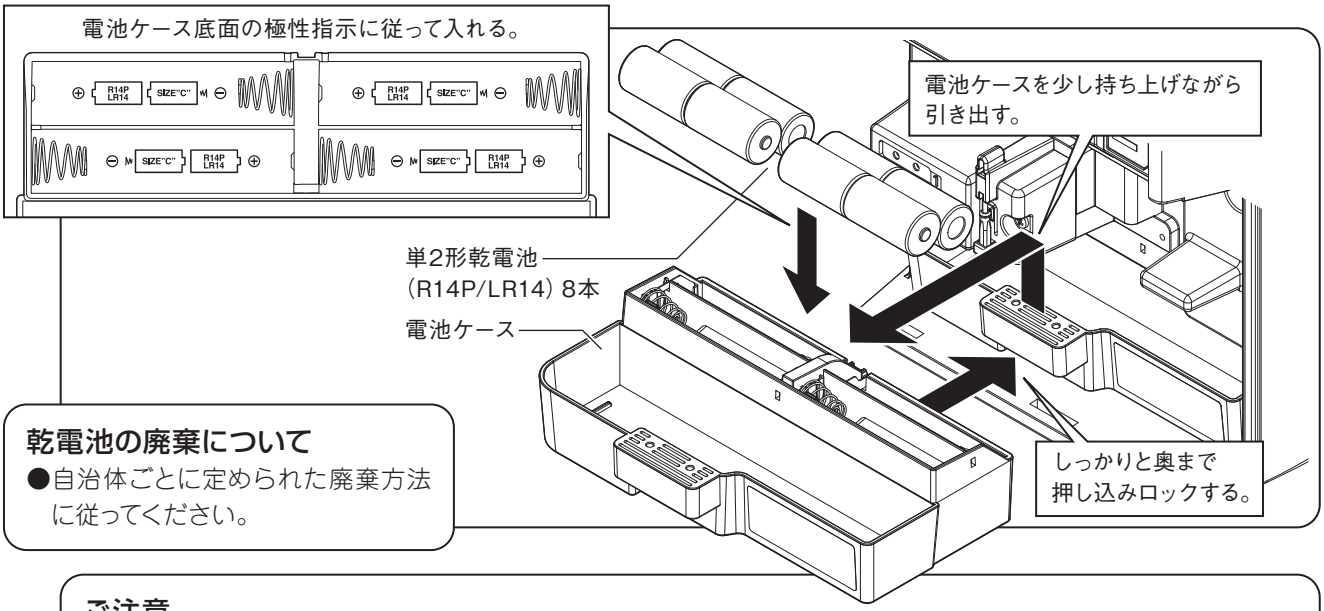


■単2形乾電池でご使用の場合

(アルカリ乾電池のご使用を推奨いたします。※マンガン乾電池の場合、使用状況により、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。)
※単3形乾電池でご使用の際は、16頁の「単3形乾電池アダプターの使用方法」をご覧ください。

①電源スイッチを切り、収納部ふたを開けてください。
②電池ケースを引き出し、極性表示に従って単2形乾電池(R14P/LR14)8本を入れてください(下図参照)。
③電池ケースを元の位置に戻してください。
④元通りに収納部ふたを閉めてください。

⚠警告 作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜き、電源スイッチを「OFF」にしてください。



乾電池の廃棄について
●自治体ごとに定められた廃棄方法に従ってください。

ご注意
●本機に乾電池が入っている時は、乾電池の飛び出しなどを防ぐために、必ず収納部ふたを閉め、ふたストッパーが上がっていることを確認してください。
●乾電池は必ず同じ種類のものを使用し、交換するときは、必ず全部新品に交換してください。
●乾電池の極性(+・−)を間違えないようご注意ください。
●長時間使用しない場合は乾電池を取り出しておいてください。乾電池をそのまま入れておきますと、乾電池の液もれで本機が使用不能になる恐れがあります。また、万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

■ニッケル水素蓄電池 WBT-2500（別売）でご使用の場合（蓄電池に付属の取扱説明書も必ずお読みください）

⚠警告	作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜き、電源スイッチを「OFF」にしてください。

⚠警告	故障時、蓄電池発火注意！ 蓄電池使用時は、故障時に蓄電池から火が出る怖れがあります。 火が広がらないように、収納部ふたを必ず閉めてご使用ください。

Ni-MH

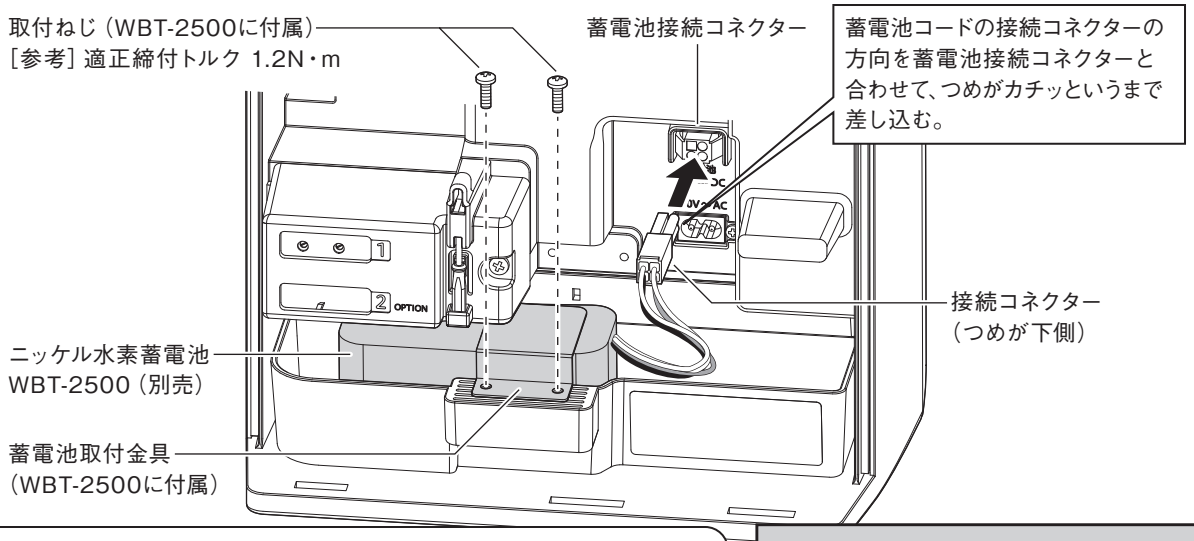
このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。
ご使用済のニッケル水素電池は貴重な資源です。
再利用しますので、リサイクル協力店にご持参ください。

■取付のしかた

①電源スイッチを切り、収納部ふたを開けてください。
②ニッケル水素蓄電池を、蓄電池取付金具と取付ねじを使用して、電池ケースまたは蓄電池収納部に固定してください。
・電池ケースを使用する場合：下図参照。
・電池ケースを使用しない場合：14頁の図参照。
③蓄電池コードの接続コネクターを、本機の蓄電池接続コネクターに接続してください。
接続コネクターは方向を合わせ、抜け止めのつめが完全にロックするまで差し込んでください。
④元通りに収納部ふたを閉めてください。

●ニッケル水素蓄電池(WBT-2500)は初期状態では充電されていません。
取付完了後、充電をしてからご使用ください（14頁の「充電のしかた」をご覧ください）。

電池ケースを使用する場合



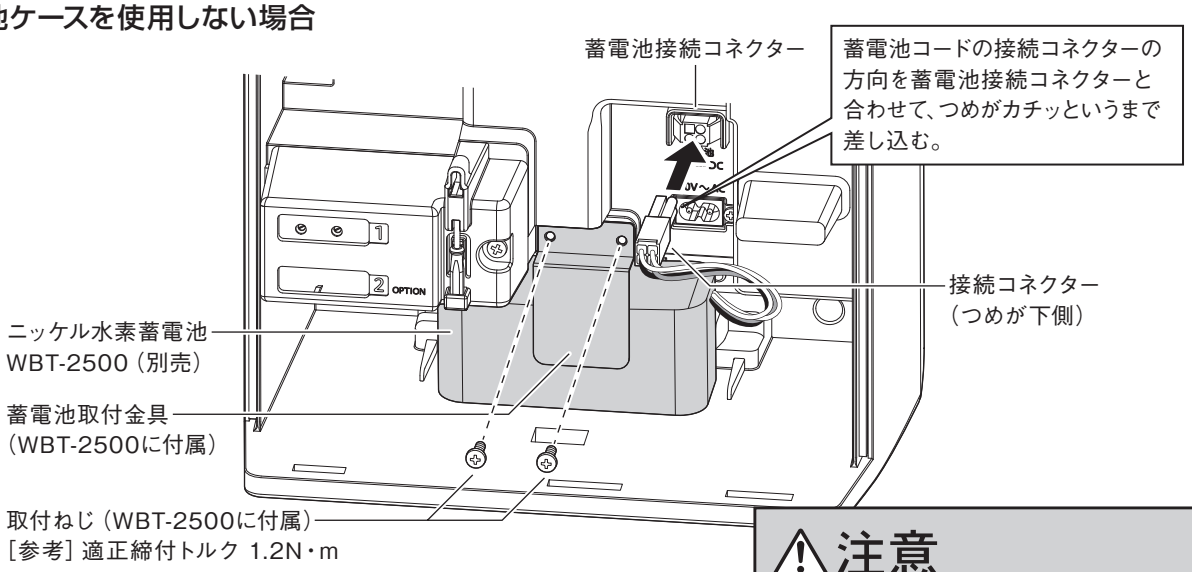
ご注意
●蓄電池のリサイクルマークが手前になるように取付けてください。
●蓄電池取付金具に、蓄電池コードを挟み込まないでください。
●蓄電池取付金具を必ず使用し、蓄電池を固定してください。
●電池ケースを取り外す際は、先に蓄電池コードを取り外してください。

⚠注意

蓄電池コードの取り外しは、接続コネクターのロックを指で外し、コネクター部を持って行ってください。
※コードを引っ張らないでください。

使用電源について

電池ケースを使用しない場合



ご注意
- ●蓄電池のリサイクルマークが手前になるように取付けてください。
- ●蓄電池取付金具に、蓄電池コードを挟み込まないでください。
- ●蓄電池取付金具を必ず使用し、蓄電池を固定してください。

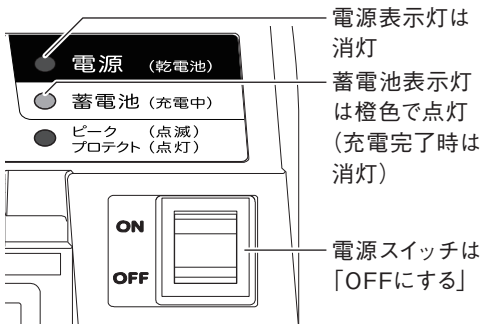
⚠注意

蓄電池コードの取り外しは、接続コネクターのロックを指で外し、コネクター部を持って行ってください。
※コードを引っ張らないでください。

■充電のしかた

ご注意
- **●蓄電池の性能を保つため、すぐに使用しない場合でも、お買い上げ後直ちに充電してください。**
- ●充電は、適切な温度（0℃～40℃）かつ、温度変化の少ない場所で実施してください。
  満充電前に充電が停止したり、満充電までの時間が長くなる場合があります。
- ●蓄電池は消耗品です。2～3回充放電を繰り返しても使用時間が短いときは寿命ですので、新しい蓄電池と交換してください。※WBT-2500の充放電回数は、約500回です。
- ●放電または充電直後は、蓄電池が高温になっていることがありますが、故障ではありません。
- ●2週間以上使用しない場合は、蓄電池の接続コネクターを本機から外してください。
- ●蓄電池は自然に放電しますので、使用を再開する際は事前に充電することをお勧めします。
- ●長期保管の場合、蓄電池の性能を保つために、常温（25℃）の保管では6か月、40℃の保管では3か月ごとに充電してください。

①電源スイッチを切り、収納部ふたを開けてください。
②AC電源コードを、本機のAC電源入力端子に差し込んでください。
③AC電源コードを、ACコンセントに差し込んでください。
充電が開始され、蓄電池表示灯が橙色に点灯します（右図参照）。
④充電中は、収納部ふたを閉めてください。
⑤充電が完了すると、蓄電池表示灯が消灯しますので、AC電源コードを、コンセントから抜いてください。
※充電時間は、通常は残量に合わせて変わり、空の状態からは7～9時間かかります。

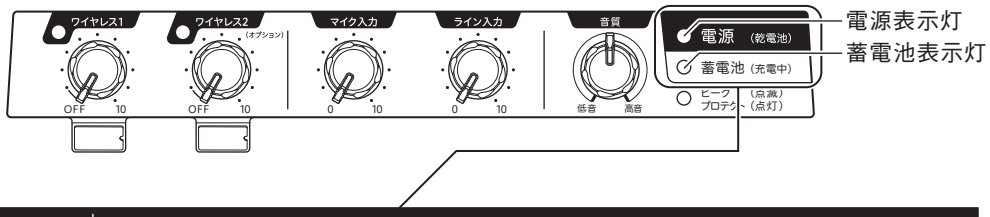


⚠警告	**本機以外の機器で充電しないでください。**

⚠注意	**蓄電池を蓄電池接続コネクターに接続してから、AC電源コードをACコンセントに差し込んでください。**

電池残量表示について

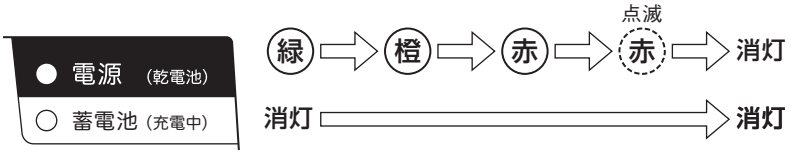
●乾電池と蓄電池の残量は、本機の電源表示灯または蓄電池表示灯で確認することができます。
使用中は電池の残量に注意し、早めに乾電池の交換、または蓄電池の充電をしてください。



表示	残量目安	説明
緑点灯	十分	十分な残量があります。
橙点灯	少ない	新しい電池を準備または充電してください。
赤点灯	わずか	すぐに電池を交換または充電してください。
赤点滅		オプションユニットが使用できなくなります。
消灯	なし	本機の動作が停止します。

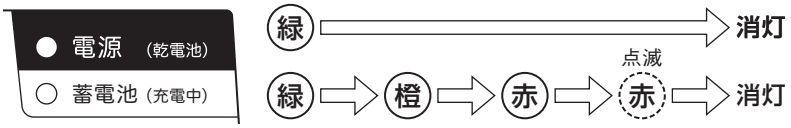
■乾電池で動作中

●電源表示灯で残量を表示します。

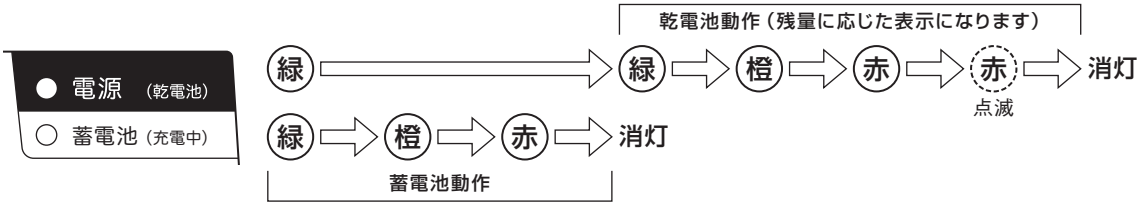


■蓄電池で動作中

●蓄電池表示灯で残量を表示します。



蓄電池と乾電池を両方接続している場合



●蓄電池を優先して使用します。
●残量表示は、現在使用中の電池の残量のみを表示します
そのため、蓄電池動作中は乾電池の残量は表示しません。

蓄電池と乾電池を併用して長時間の連続使用を行う場合は、新しい乾電池をご使用ください。

電池寿命の目安

専用ニッケル水素蓄電池（WBT-2500）	アルカリ乾電池（単2形）	アルカリ乾電池（単3形）
約6.5時間	約9.5時間	約4時間

●当社の試験条件（出荷状態：ワイヤレスチューナー1台、オプションユニットなし）で連続使用した場合の値です。ご使用の条件によっては、変動することがあります。
●電池残量が少なくなると、出力により音が途切れることがあります。乾電池の場合は早めの交換を、ニッケル水素蓄電池の場合は直ちに充電してください。※電池でご使用の場合、定格出力は10Wとなります。

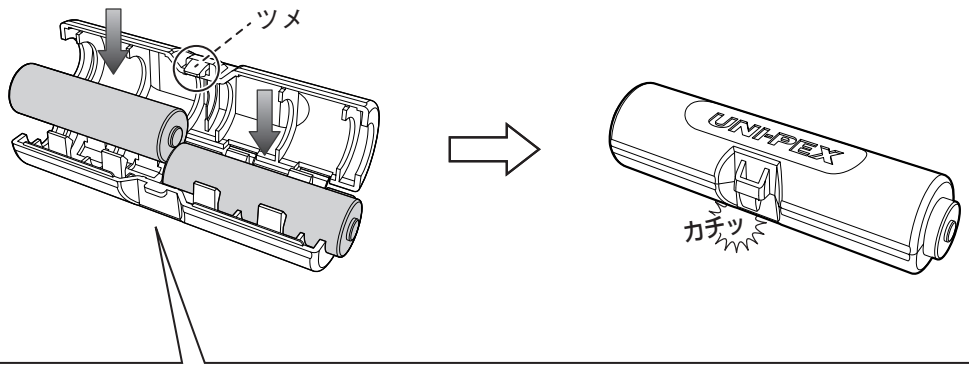
単3形乾電池アダプターの使用方法

●本機を単3形乾電池でご使用になる際は、付属の単3形乾電池アダプターが必要です。
※単3形乾電池アダプターは、単3形乾電池（SIZE“AA”）を単2形乾電池（SIZE“C”）規格サイズに変換します。
※電池サイズを補うものであり、容量を増やすものではありません。

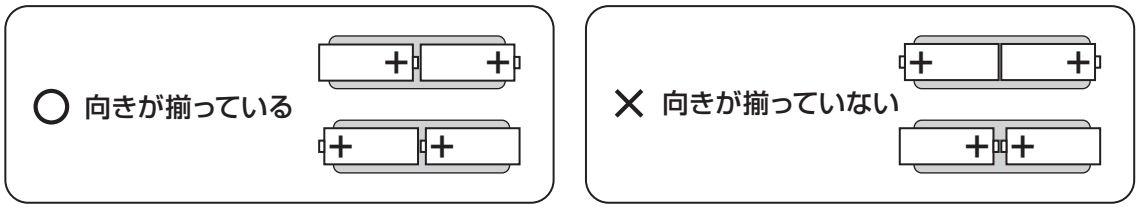
■使用方法

①ツメを外して単3形乾電池アダプターを開き、単3形乾電池を入れてください。

②カチッと音がするまで閉じてください。



電池の向きについてのご注意
●乾電池アダプターに対して、使用する電池2本の⊕⊖向きを揃えて使用してください。



③単3形乾電池アダプターを、本機に取り付けてください。
取付方法については、12頁「単2形乾電池でご使用の場合」をご覧ください。

⚠注意	**●激しく本製品を振ると電池が抜け落ちる可能性があります。また、電池サイズの個体差で抜け落ちやすくなる場合もありますので、注意して使用してください。** **●破損した場合は使用しないでください。**

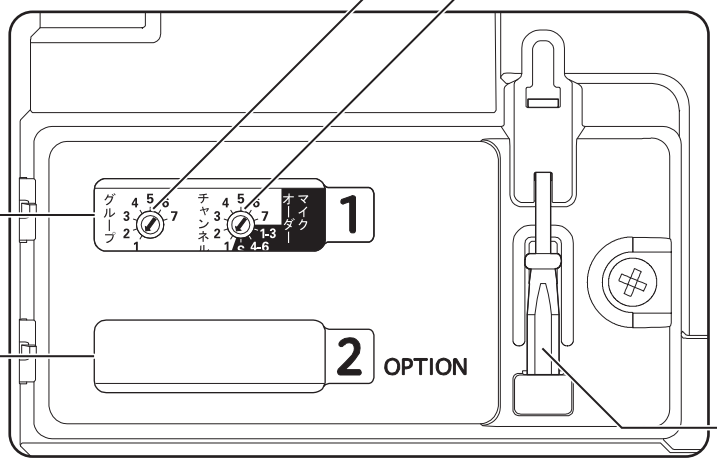
ワイヤレスチューナー部について（各部の名称と説明）

ワイヤレスチューナー取付部1
収納部内にワイヤレスチューナーユニット1台が内蔵されています。

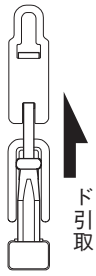
グループ設定スイッチ
使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。

チャンネル設定スイッチ
使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。

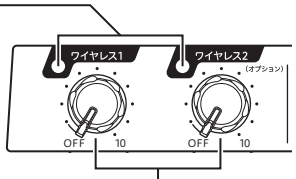
出荷時は、グループ／チャンネル番号「B11」に設定されています。
グループ／チャンネル番号を変更する場合は、18頁の「ワイヤレスチューナーの設定」をご覧ください。



ワイヤレスチューナー設定用ドライバー
18頁の「ワイヤレスチューナーの設定」をご覧ください。



ワイヤレスチューナー取付部2
別売のワイヤレスチューナーユニットDU-850AまたはBluetoothユニットBTU-100のどちらか1台を増設可能です。21頁の「別売ワイヤレスチューナーユニットの取り付け方法」をご覧ください。

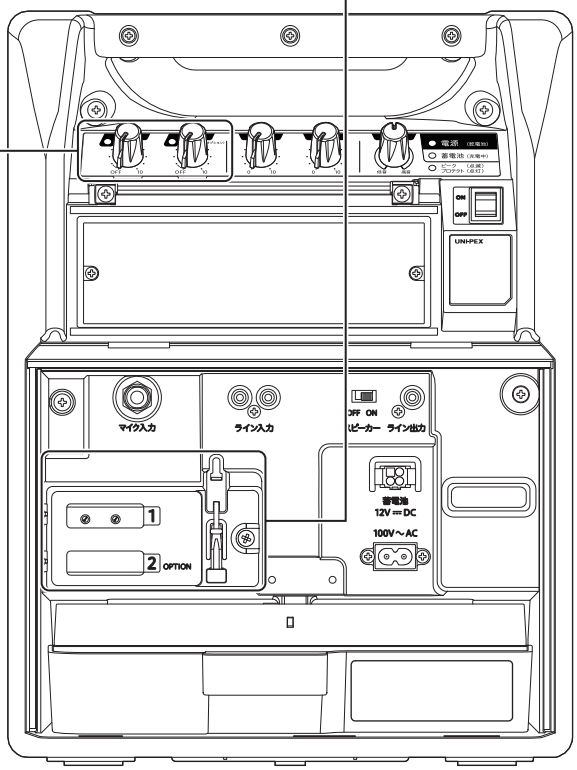
アンテナ受信表示灯


【ワイヤレスチューナーユニット】
電波受信時は緑色、未受信時は赤色で点灯します。
周波数設定が正しく行われていない（19頁の「受信周波数表」にないグループ、チャンネルに設定している）場合は、赤色で早く点滅しますので、周波数の設定を見直してください（18頁の「ワイヤレスチューナーの設定」をご覧ください）。
【Bluetoothユニット】
電源が入るとペアリング待ちの状態になり、赤色で遅く点滅します。ペアリングが完了すると緑色で点灯します(ペアリングの方法は、Bluetoothユニットの取り扱い説明書をご覧ください)。

ワイヤレス1/2音量調節つまみ
ワイヤレスチューナー取付部の、各ユニットの音量を調節します。
ユニットの電源を個別に入／切できるスイッチ機能付きですので、表示灯が点灯するまで右にまわしてから、音量を調節してください。
Bluetoothユニットをご使用の場合、ペアリング完了後につまみを「OFF」まで回してもペアリングは継続しますので、再接続の必要がありません。

ここで電源が入ります。

ご使用にならないユニットの音量調節つまみは「OFF」にしてください。



ワイヤレスチューナーの設定

●本機は出荷時に、ワイヤレスチューナー部のグループ／チャンネル番号を「**B11**」に設定しています。
周波数設定を切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、次の要領でおこなってください。

■周波数設定のしかた

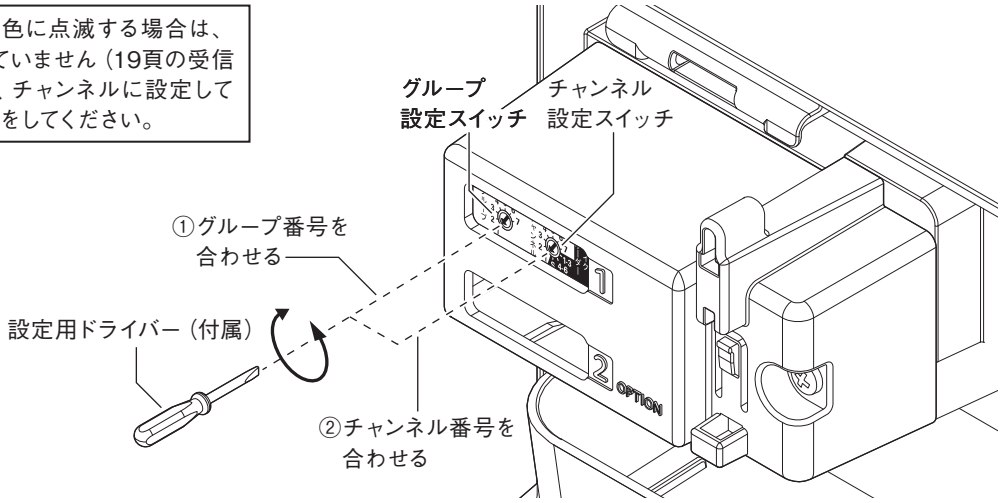
1.グループ番号を設定する

・グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号に合わせます(下図参照)。

2.チャンネル番号を設定する

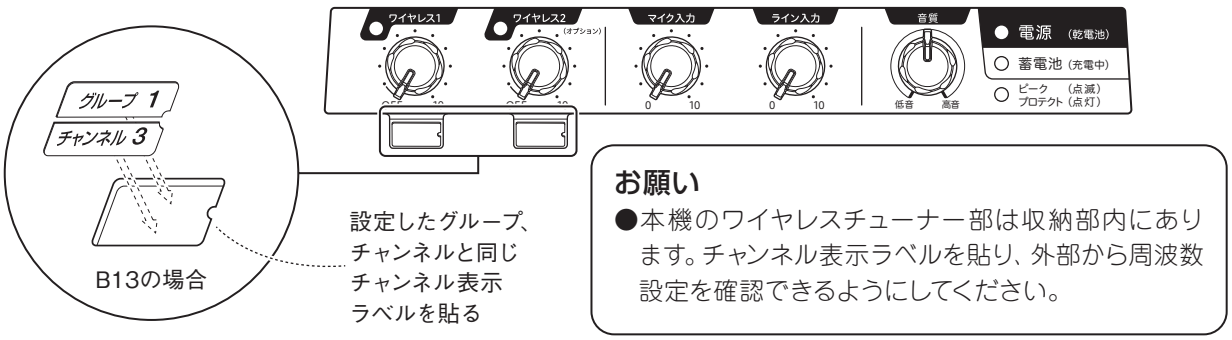
・チャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます(下図参照)。

アンテナ受信表示灯が赤色に点滅する場合は、周波数が正しく設定されていません（19頁の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している）。再度、周波数設定をしてください。



3.収納部ふたを閉め、チャンネル表示ラベルを貼る

・元通りに収納部ふたを取り付けてください。
・設定したグループ、チャンネルと同じチャンネル表示ラベル(付属)を、ワイヤレスマイク音量調節つまみ下部のチャンネル表示ラベルスペースに貼ってください(下図参照)。



お願い

●本機のワイヤレスチューナー部は収納部内にあります。チャンネル表示ラベルを貼り、外部から周波数設定を確認できるようにしてください。

ご注意

●ワイヤレスチューナーとワイヤレスマイクは、同じ周波数(グループ及びチャンネル)に設定してください。

●同時に使用するワイヤレスマイクは、必ず同じグループの内の異なるチャンネルに設定してください(19頁の受信周波数表を参照)。

●1ヶ所で同時使用できるチャンネル数は19頁の「グループ／チャンネル番号について」を参照してください。

●ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクの距離は、15m以内で使用してください。なお環境条件によっては15mよりも短くなります。

●同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離は約2m～10mの距離でご使用ください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。

●ワイヤレスマイクを2本以上ご使用の場合、ワイヤレスマイクどうしは50cm以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。

800MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループ／チャンネル番号について（下記文中のチャンネル数は本機を複数台使用の場合を含みます）

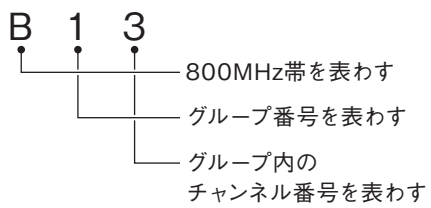
●同一場所で複数のワイヤレスマイクを同時使用する場合は、同じグループ内の異なるチャンネルに設定してください。
※同一場所で2グループ以上の同時使用はできません。
・グループ1～4の中から1つを選んでシステムを組めば、最大6チャンネルまで使えます。
・グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。
●グループ7は、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。
次の条件下で十分に注意して使用したときは、7チャンネルの組み合わせも可能となります。
・ワイヤレスマイク間を50cm以上離す。
・ワイヤレスマイクとワイヤレスアンプ本体を2m以上離す。
・隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。
●周波数一覧表にないグループ／チャンネル番号に設定すると、受信表示灯が赤色で点滅し、受信できません。
必ず受信周波数一覧表を見て設定してください。

受信周波数表

	周波数（MHz）	グループ／チャンネル番号						
		グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1	806.125	B11						B71
2	806.250		B21					
3	806.375	B12						B72
4	806.500		B22					
5	806.625			B31				
6	806.750				B41			
7	806.875			B32				B73
8	807.000		B23					
9	807.125	B13						
10	807.250						B61	
11	807.375			B33				
12	807.500				B42			B74
13	807.625					B51		
14	807.750	B14						
15	807.875		B24					
16	808.000				B43			
17	808.125					B52		
18	808.250			B34				
19	808.375					B53		
20	808.500		B25					B75
21	808.625			B35				
22	808.750					B54		
23	808.875		B26					
24	809.000	B15						
25	809.125				B44			
26	809.250			B36				
27	809.375				B45			B76
28	809.500	B16						
29	809.625					B55		
30	809.750				B46			B77

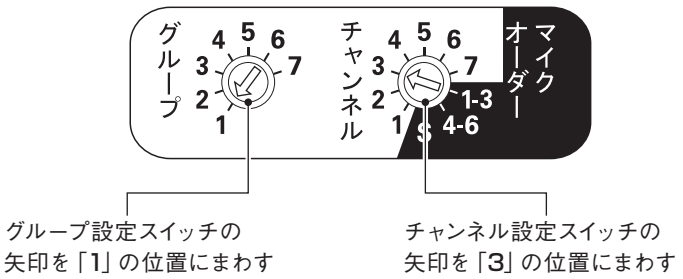
■チャンネル呼称について

（例）



■グループ／チャンネル番号の設定例

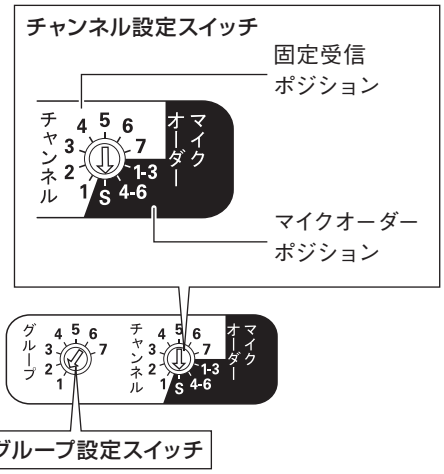
使用するワイヤレスマイクのグループ／チャンネル番号が「B13」の場合



マイクオーダーについて

●本機は、1本のワイヤレスマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する「固定受信ポジション」と、グループ内の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダーポジション」の設定が可能です。

・**固定受信ポジション**
1本のマイクに対して、専用のチャンネルを固定して受信します。
・**マイクオーダーポジション**
グループ内の複数(3または6)※チャンネルを選択して受信します。
※グループ「5」の時は、2、3または5。



●2本以上のワイヤレスマイクをご使用の場合、受信可能なチャンネルの組合わせは、右記の「マイクオーダーのチャンネル組合せ表」をご覧ください。
またグループの設定は「**1**、**2**、**3**、**4**、**5**」のいずれかに設定してください。「**6**、**7**」には設定しないでください。

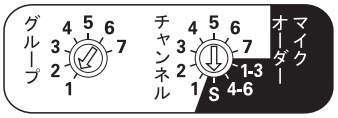
ご注意
●同一場所で2台使用する場合、グループ設定は同じにし、マイクオーダーポジションはチャンネルが被らないよう、「1-3」と「4-6」に設定してください。

◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

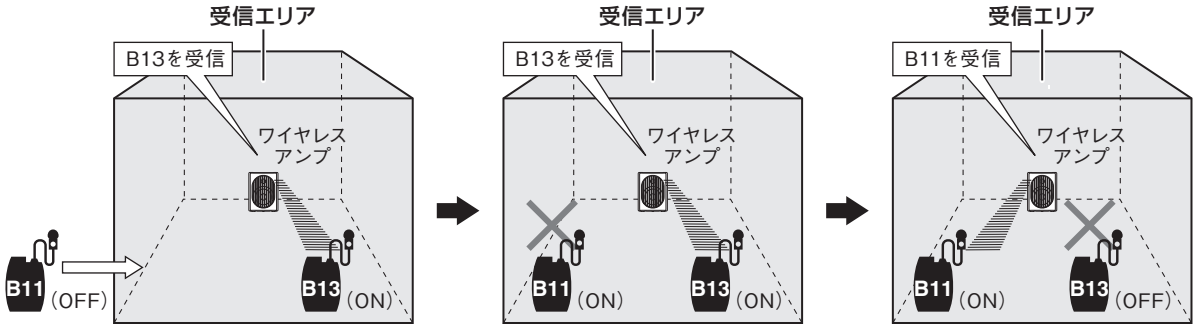
グループ設定スイッチ / チャンネル設定スイッチ		1	2	3	4	5
マイクオーダーポジション	1-3	B11 B12 B13	B21 B22 B23	B31 B32 B33	B41 B42 B43	B51 B52 B53
	4-6	B14 B15 B16	B24 B25 B26	B34 B35 B36	B44 B45 B46	B54 B55
	S	B11 B12 B13 B14 B15 B16	B21 B22 B23 B24 B25 B26	B31 B32 B33 B34 B35 B36	B41 B42 B43 B44 B45 B46	B51 B52 B53 B54 B55

マイクオーダー運用例

●グループスイッチの設定・・・・・1 の場合
●チャンネルスイッチの設定・・・・S



・最大6チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用(電源スイッチ「ON」)したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します(下図①、②)。
・受信中マイクの使用が終わり(電源スイッチ「OFF」)次第、受信エリア内にある、もう1台のマイクが受信可能になります(下図③)。



① ワイヤレスマイク(B13)を受信中

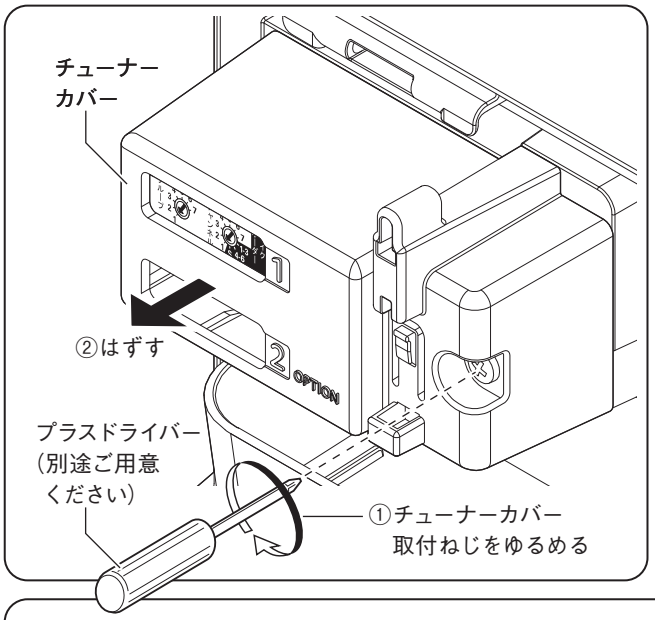
② ワイヤレスマイク(B13)を受信中
ワイヤレスマイク(B11)は使用不可

③ ワイヤレスマイク(B13)は使用終了
ワイヤレスマイク(B11)は使用可能

別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法

●本機は、ワイヤレスチューナーユニット DU-850Aを1台追加することができます（標準装備の1台と合わせて、最大2台まで使用可能）。取付は、販売店または最寄りの弊社営業所にご相談ください。
●作業の際、収納部のふたを開閉する必要があります。
※開閉のしかたについては、10頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

⚠警告 **ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業をおこなわないでください。**
作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。



■取付けのしかた

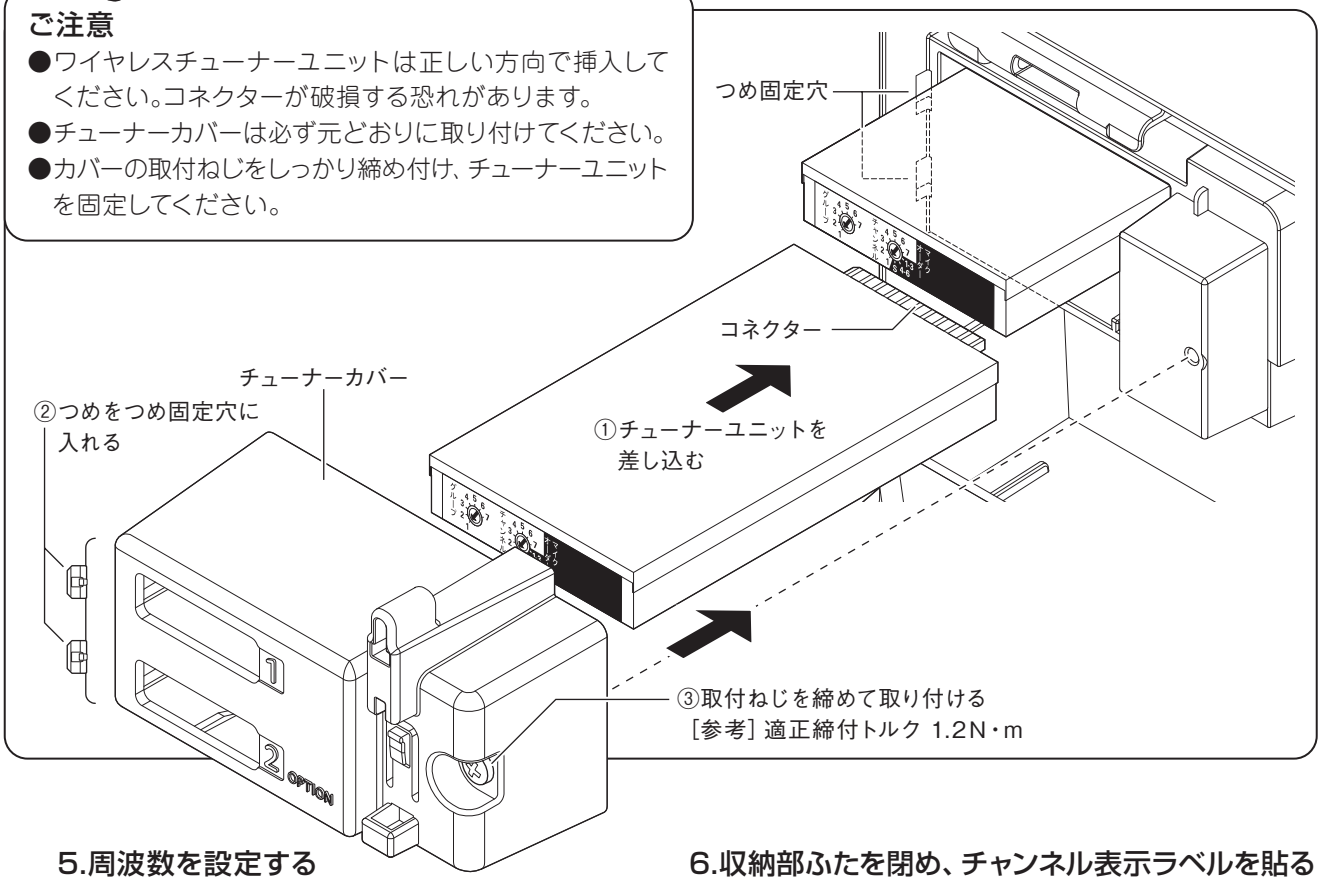
1.収納部ふたを開ける
・収納部ふたを開けてください。

2.チューナーカバーをはずす
・チューナーカバーの取付ねじをゆるめ、矢印の方向に取りはずしてください(右図参照)。

3.ワイヤレスチューナーユニットを組み込む
・ワイヤレスチューナーユニットをワイヤレスチューナーユニット取付部に挿入してください(下図参照)。

4.チューナーカバーを元通りに取り付ける
・チューナーカバーを元通りに取り付け、取付ねじを締め付けて固定してください(下図参照)。

ご注意
●ワイヤレスチューナーユニットは正しい方向で挿入してください。コネクターが破損する恐れがあります。
●チューナーカバーは必ず元どおりに取り付けてください。
●カバーの取付ねじをしっかり締め付け、チューナーユニットを固定してください。



5.周波数を設定する
・出荷時は、グループ／チャンネル番号を「B11」に設定しています。周波数設定を切り換える場合は、18頁の「ワイヤレスチューナーの設定」、またはワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

6.収納部ふたを閉め、チャンネル表示ラベルを貼る
・元通りにふたを閉めてください。
・表示ラベル(チューナーユニットに付属)を操作部のチャンネル表示ラベルスペースに貼ってください。18頁の「ワイヤレスチューナーの設定」をご覧ください。

別売Bluetoothユニットの取付方法

●本機は、Bluetoothユニット BTU-100を1台追加することができます。
取付は、販売店または最寄りの弊社営業所にご相談ください。
●作業の際、収納部ふたを開閉する必要があります。
※開閉のしかたについては、10頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

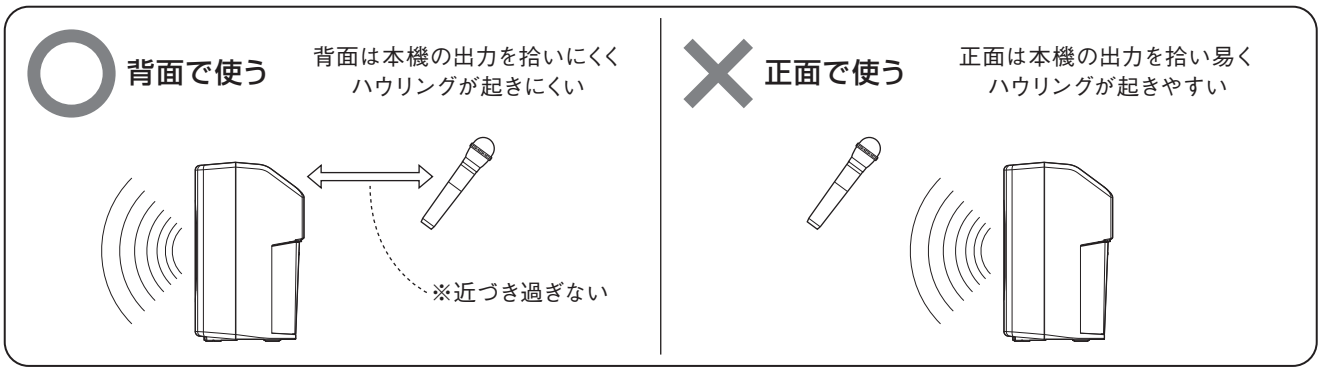
⚠警告	**ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業をおこなわないでください。** **作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。**

●取付方法は、20頁の「別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法」をご覧ください。
Bluetoothユニットは、下段「2」OPTIONに組込んでください。
●操作方法については、「Bluetoothユニット BTU-100」の取扱説明書をご覧ください。
●ユニット表示ラベル(付属)については、「Bluetoothユニット　BTU-100」の取扱説明書及び、17頁の「ワイヤレスチューナーの設定」をご覧ください。

ハウリングとデッドポイントについて

■ハウリングについて

●スピーカーの出力をマイクが拾うと、音声のループが発生し、「キーン」というハウリングが起きます。
●マイクを本機の真正面近くで使用したり、音量を上げ過ぎたりすると、ハウリングが起きやすくなります（下図参照）。
●ハウリングが起きた場合は、ただちに音量を下げるか、マイクの位置をスピーカーの正面からそらすと止まります。



■デッドポイントについて

●ワイヤレスマイクを移動しながら使用していると、突然音が出なくなる位置があります。この位置をデッドポイントと言います。
これはワイヤレスマイク、本機の内蔵アンテナ、壁、障害物などの位置関係により生ずるもので、故障ではありません。本機の位置、あるいはワイヤレスマイクの位置を変えると、音が出るようになります。

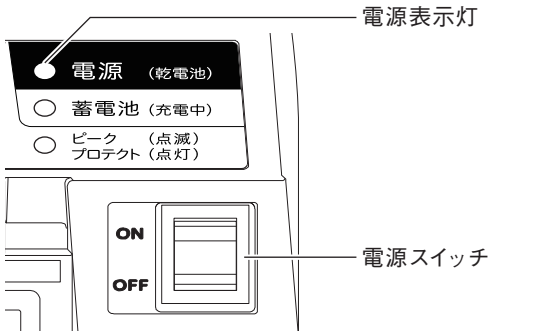
操作のしかた

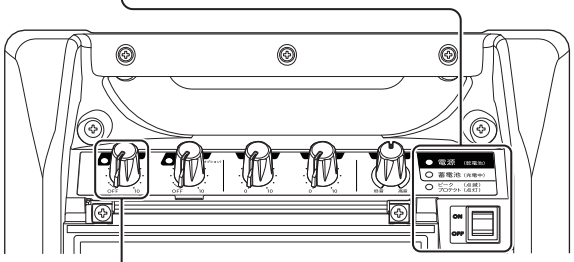
⚠注意	・各音量調節つまみは反時計回り最小の位置に合わせておいてください。 ・音量は徐々に上げていくことをおすすめします。

ワイヤレスマイクの使い方

1.電源を入れる

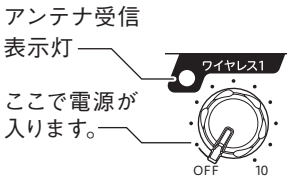
電源スイッチを「ON」にして、電源表示灯が点灯していることを確認してください。





2.ワイヤレスチューナーの電源を入れる

ワイヤレス1音量調節つまみを回し、ワイヤレスチューナーの電源を入れると、アンテナ受信表示灯が赤色に点灯します。



3.ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にする

アンテナ受信表示灯が赤色から緑色の点灯に変わります。

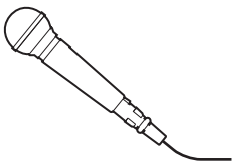
4.ワイヤレスマイクの音量を調節する

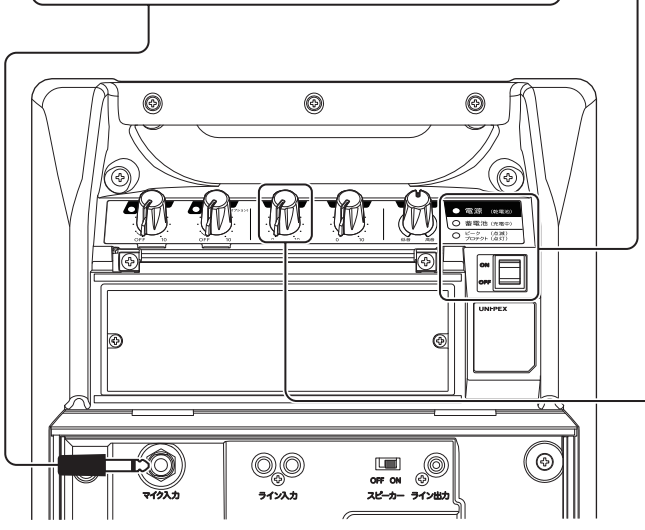
ワイヤレス1の音量調節つまみで、ワイヤレスマイクの音量を調節してください。

有線マイクの使い方

1.有線マイクを接続する

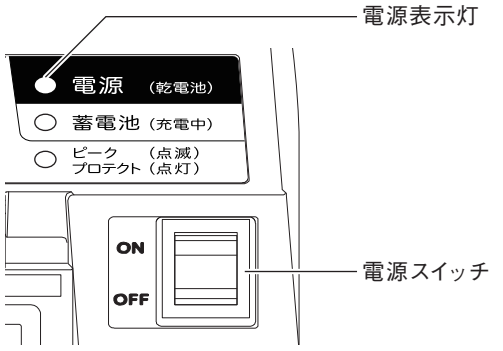
マイクプラグをマイク入力ジャックに接続する。





2.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。



3.マイクの音量を調節する

マイク入力音量調節つまみで、マイクの音量を調節してください。

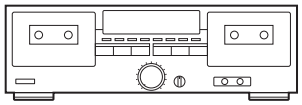
操作のしかた

ライン入力の使い方

1.外部機器を接続する

ライン入力専用のステレオピンジャックです。
音量調節つまみで入力レベルを調節できます。
※ステレオ入力した場合でも、出力はモノラルになります。

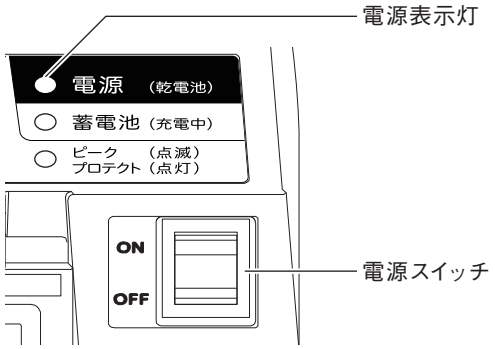
CDプレーヤー

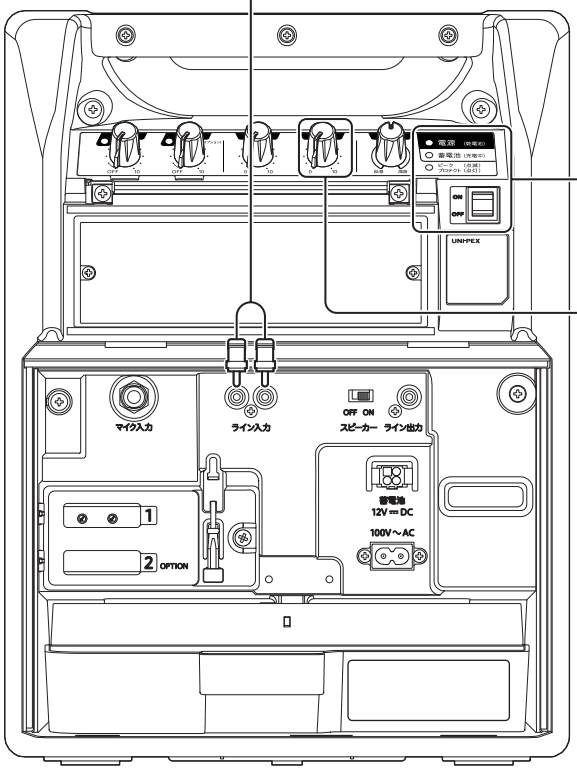


カセットデッキ

2.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。





3.外部機器の音量を調節する

ライン入力音量調節つまみで、外部機器の音量を調節してください。

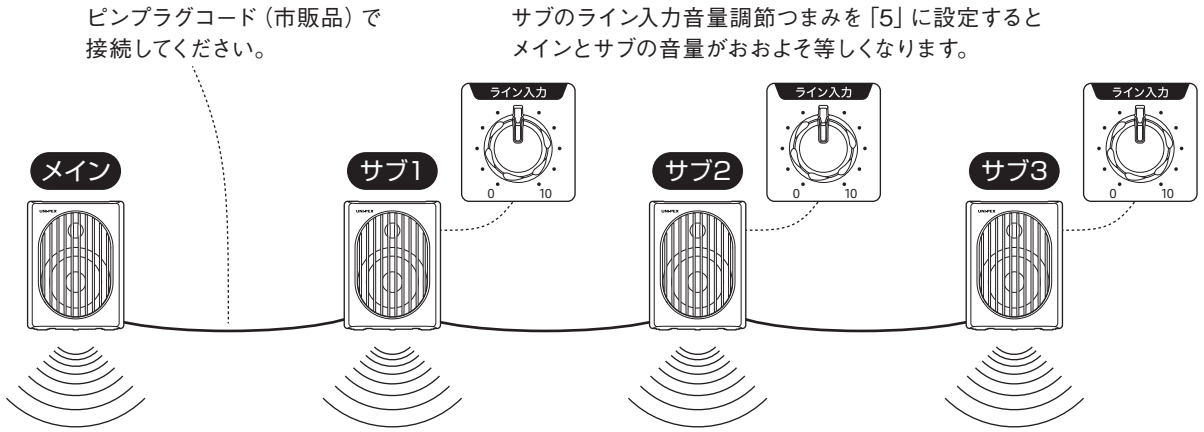
カスケード接続について

●2台以上のワイヤレスアンプをカスケード接続（数珠繋ぎ）することで、メインとなるワイヤレスアンプ（※以下メイン）で再生した音声を、サブとなる複数のワイヤレスアンプ（※以下サブ）から同時に放送することができます。

●メインから一括して音量や音質の調節ができます。

●サブに付属するワイヤレスチューナーをメインへ移し替えることで、2本のワイヤレスマイクの音声をメインとサブから同時に放送することができます。

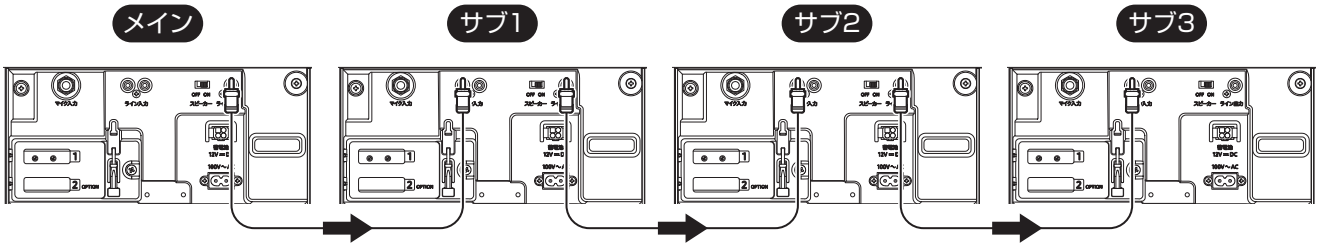
メインの音声をサブから同時放送します（サブ：最大3台）



サブ1～3は、メインと同じ音声を同時放送します。

■接続のしかた

①接続するすべてのワイヤレスアンプの電源を切り、ボリュームを最小にしてください。
②メインのライン出力ジャックとサブのライン入力ジャックを市販のピンプラグコードで接続してください。
③サブを追加する場合は、一方のサブのライン出力ジャックと他方のサブのライン入力ジャックを接続し、カスケード接続します（下図参照）。



④すべてのワイヤレスアンプの電源を入れてください。
⑤メインに音声を入力し、音量調節つまみを操作し、好みの音量へ調節してください。
必要に応じて、メインに近いサブから順にライン入力音量調節つまみを操作し、好みの音量へ調節してください。
⑥使用後は、全てのワイヤレスアンプおよび接続機器の電源を切ってください。

ご注意

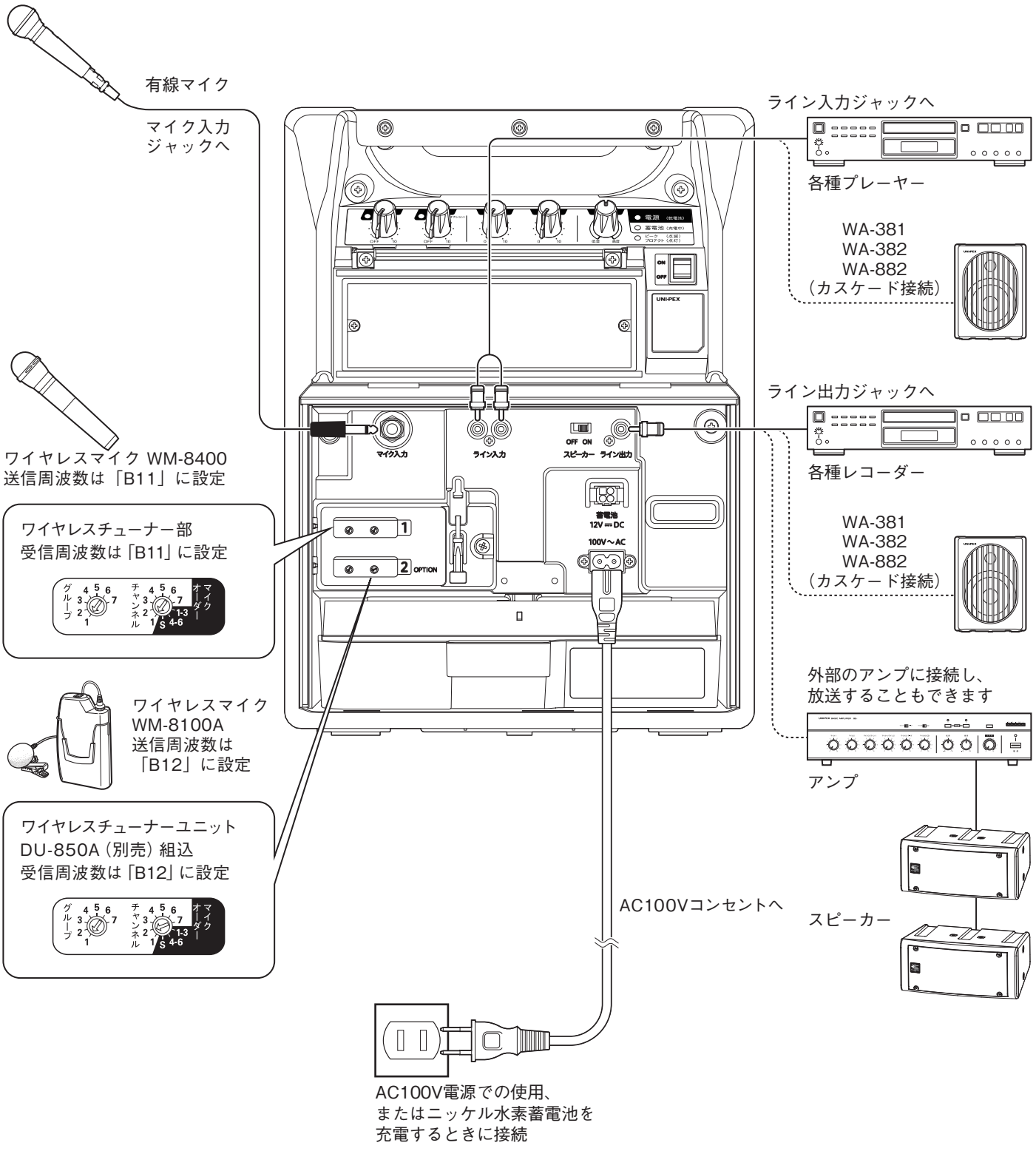
●同時に接続できる台数は4台までです（メイン1台、サブ3台）。
●各ピンプラグコードの長さは20mまでを目安にしてください。長いコードを使用すると音声の品質が悪くなることがあります。
●サブに入力した音声をメインから放送することはできません。
●音質調節はメインでおこなってください。サブの音質調節つまみを操作してもメインには反映されません。

⚠警告	**サブのライン出力をメインのマイク入力またはライン入力へ接続しないでください（ループ状の接続の禁止）。大きなノイズが発生し、聴覚障害や機器の故障につながります。**

接続例

お願い

●ご使用時は、必ず収納部ふたを閉めてください。接続、設定などの作業が完了しましたら、全てのコードをコード通し穴から引き出し、収納部ふたを閉めてください。



点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず､故障かな?と思うことがあります｡次の要領で点検してみてください｡

⚠警告
- ●次の方法で点検されても正常に動作しないとき､または使用中に急に異常が発生したときは､電源スイッチを切り､電源プラグをコンセントから抜いてください｡煙などの異常が無いことを確認し､販売店などへご連絡ください｡
- ●**本機は絶対に分解しないでください｡感電の恐れがあります｡修理は必ず販売店などにご依頼ください｡**

症　状	点 検 項 目	対　策
全く動作しない｡ (電源表示灯が消灯)	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを「ON」にしてください。
	AC電源コードや乾電池、蓄電池が接続されていますか。	12～14頁を参考に、接続を見直してください。
	乾電池や蓄電池が消耗していませんか。	15頁を参考に残量を確認し、12～14頁に従って、乾電池は交換、蓄電池は充電を行ってください。
全く動作しない。 (プロテクト表示灯が点灯)	本機に適合している電源を使用していますか (11～14頁参照) 。	電源スイッチを「OFF」にし、本機から全ての電源を取り外してください。1分後に適合している電源を接続し、電源スイッチを「ON」にしてください。
オプションユニットが動作しない。	乾電池や蓄電池が消耗していませんか。	15頁を参考に残量を確認し、12～14頁に従って、乾電池は交換、蓄電池は充電を行ってください。
乾電池での使用時、CDU-104でCDの再生ができない｡(電源表示灯は点灯)	SDカードやUSBメモリーは再生できますか。	CDを再生できるだけの乾電池残量がありません。12頁を参考に、乾電池を交換してください。
有線マイクの音声が出ないまたはおかしい。	マイクが確実に接続され、トークスイッチは入っていますか。	ケーブルの抜き差し、トークスイッチのON/OFFを何度か行ってください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	マイクとケーブルは本機に適合していますか。	本機のマイク入力はアンバランス (不平衡) です。適合するマイクとケーブルをご使用ください。
接続機器の音が出ないまたはおかしい。	接続機器及び本機の外部入力音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	接続機器の出力レベルやインピーダンスは合っていますか。	29頁の「入力感度及びインピーダンス」を確認し、適合する機器を使用してください。
ワイヤレスマイクの音声が出ない。	アンテナ受信表示灯は赤色または緑色に点灯していますか。	ワイヤレスマイクの音量調節つまみを回し、ワイヤレスチューナーの電源をONにしてください。
	マイクの電源スイッチは入っていますか。	マイクの電源スイッチのON/OFFを何度か行ってください。
	マイクの電池が入っていますか。	確認と同時に、ワイヤレスマイクの取扱説明書を参考に、電池の消耗も確認してください。
	マイクとワイヤレスチューナー部のグループ／チャンネル番号の設定は同じですか。	18～19頁、またはワイヤレスマイクの取扱説明書を参考に、設定を見直してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	22頁を参考に、マイクの使用場所を確認してください。
	ワイヤレス音量調節つまみが絞られていませんか。	適切な音量に調節してください。
内蔵スピーカーの音が出ないまたはおかしい。	内蔵スピーカーON/OFFスイッチが「OFF」になっていませんか。	「ON」にしてください。
	乾電池や蓄電池が消耗していませんか。	15頁を参考に残量を確認し、必要であれば12～14頁に従って、乾電池は交換、蓄電池は充電を行ってください。
音声が急に小さくなる。 (プロテクト表示灯が点滅)	接続機器及び本機の音量調節つまみを上げすぎていませんか。	音量を少し下げてください。
音声が途切れる。 (プロテクト表示灯が点灯)	接続機器及び本機の音量調節つまみを上げすぎていませんか。	音量を少し下げてください。
	大音量での長時間使用や、40℃を超える環境で使用されていませんか。	電源スイッチを「OFF」にし、温度を下げてください。使用環境を見直してください。

点検方法

蓄電池の充電について

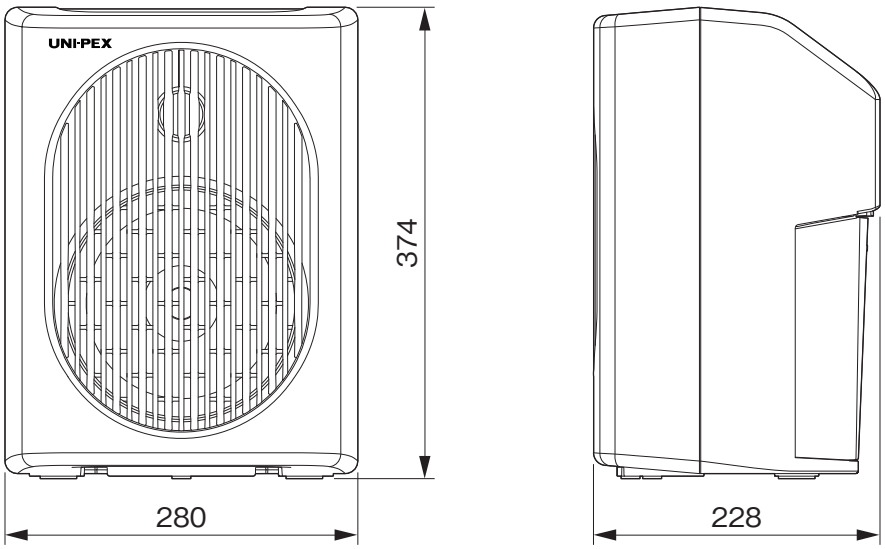
症　状	点 検 項 目	対　策
充電されない。 （蓄電池表示灯が消灯）	電源が接続されていますか。	電源コードを本機とコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチは切れていますか。	電源スイッチを「OFF」にしてください。
	蓄電池は接続されていますか。	電源コードをコンセントから抜き、蓄電池が本機と接続されているか確認してください。
充電されない。 （蓄電池表示灯が橙点滅）	適切な温度環境で充電していますか。	0℃～40℃の温度範囲で充電を実施してください。
	蓄電池の温度が高くなっていませんか。	使用直後は温度が高くなっている場合があります。 蓄電池の温度が十分下がってから、充電を実施してください。
充電されない。 （蓄電池表示灯が赤点灯）	蓄電池の温度が高くなっていませんか。	使用直後は温度が高くなっている場合があります。 蓄電池の温度が十分下がってから、充電を実施してください。 症状が改善されない場合は、蓄電池を交換してください。
充電されない。 （プロテクト表示灯が点灯）	電源スイッチを「ON」にして、プロテクト表示灯が点灯せずに、本機から音声が出力できますか。	電源コードをコンセントから抜いてください。 1分後にコンセントに接続し、再度充電を行ってください。
使用できる時間が短い。	適切な温度環境かつ、温度変化の少ない場所で充電していますか。	充電を実施する場所を見直してください。
	保管中に、定期的に充電をしていますか。 （3か月～6か月ごと）	2～3回充放電を繰り返してください。

定　格

使　用　電　源	AC100V　50／60Hz 単2形乾電池（R14P／LR14）×8、単3形乾電池（R6P／LR6）×8 ※単3形乾電池アダプター使用時 専用ニッケル水素蓄電池（WBT-2500）
定格消費電力	20W（電気用品安全法による測定方法に基づく）
消　費　電　流	[AC時]0.9A（25W出力時） [DC時]1.8A（10W出力時）
定　格　出　力	[AC時]25W [DC時]10W
最　大　出　力	[AC時]30W [DC時]12W
ひ　ず　み　率	5%以下（1kHz 定格出力時）
周　波　数　特　性	50Hz～15kHz（偏差－2dBV±3dB）
音　質　調　節	10kHz：+5dB以上（右最大位置）、90Hz：+5dB以上（左最大位置）
入力感度及びインピーダンス	マイク入力　　：－56dBV±3dB　600Ω　不平衡　音量調節器付　2極大型単頭ジャック ライン入力　　：－12dBV±3dB　10kΩ　不平衡　音量調節器付　ピンジャック×2 チューナーユニット（2系統）：－26dBV±3dB　10kΩ　不平衡　音量調節器付 オプションユニット（1系統）：　－4dBV±3dB　10kΩ　不平衡
信号対雑音比	70dB以上（オプションユニット部を除く）
ラ　イ　ン　出　力	0dBV±3dB　1kΩ　不平衡　ピンジャック×1
使用スピーカー	デュアルコーンスピーカー（20cm）×1（コーン型スピーカー）
アンテナ方式	ダイポールアンテナ×2（内蔵）
動　作　表　示 （発光ダイオード）	電源表示　　：AC動作時（緑）／乾電池動作時（緑）、減電圧時（橙／赤） 蓄電池／充電中表示　：蓄電池動作時（緑）、減電圧時（橙／赤）／ 充電時（橙）、充電一時停止（橙点滅）、充電停止（赤） プロテクト／ピーク表示：過大時（赤点滅）／プロテクト時（赤点灯） <アンテナ受信表示> ワイヤレスチューナーユニット取付時：受信時（緑）／待機時（赤）／設定外（赤 点滅） Bluetoothユニット取付時　　：ペアリング完了時（緑）／ペアリング待機時（赤 点滅）
使用温度範囲	0℃～+40℃
外　　装	ケース（ABS樹脂）　：[前面]マンセルN9.5 近似色 白 塗装仕上げ、[その他]マンセルN2 近似色 黒 塗装仕上げ 保護カバー（PC樹脂）：スモークグレー
寸　　法	幅 280mm　高さ 374mm　奥行 228mm
質　　量	約5.8kg（乾電池、蓄電池を除く）
防　水　性　能	IPX3（防雨形）　※保護カバーと収納部ふた装着時
付　属　品	取扱説明書（保証書付）1、電池ケース 1、外部機器接続用ケーブル 1、単3形乾電池アダプター 4、 チャンネル表示ラベル 1、設定用ドライバー 1、AC電源コード 1
適　合　品	DU-850A（ワイヤレスチューナーユニット）、BTU-100（Bluetoothユニット）、CDU-104（CDプレーヤーユニット）、 SDU-201（SD/USBレコーダーユニット）、SDU-B202（SD/USB/Bluetoothプレーヤーユニット）、 MU-600（入力ユニット）、IU-700（オーディオインターフェースユニット）、WBT-2500（ニッケル水素蓄電池）、 WA-2K（収納ケース）、ST-WA（スピーカースタンド）
チューナー部	
受信周波数	806.125MHz～809.750MHz（125kHz間隔30波）
出荷時設定受信周波数	806.125MHz（B11[グループ番号：1／チャンネル番号：1]）
受　信　方　式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受　信　感　度	20dBμV

メ　モ

外観寸法図（単位：mm）



サポートのご案内

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。**
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。
①品　名　②品　番　③お買い上げ日　④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ **販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。**

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードにアクセス
してください。
https://www.unipex.co.jp

■ **その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。**

UNI-PEX お客様ご相談センター
0120-56-5245（通話料無料）
受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

防滴形ワイヤレスアンプ WA-882

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年　月　日より 電子回路部1ヶ年、ケース（外装部）6ヶ月
お客様	お名前　見本　様 ご住所 〒 電話（　）　-
販売店	店名・住所 印 電話（　）　-

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
（This warranty is valid only in Japan）

無料修理保証の範囲
①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲
（次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。